

諮問書：JPRS-ADV-2005001

「日本語 JP ドメイン名における予約ドメイン名の今後の取り扱い」
に関する論点について

2005 年 8 月 30 日
株式会社日本レジストリサービス

はじめに

日本レジストリサービス（以下「JPRS」）は、2005 年 8 月 30 日に諮問書 JPRS-ADV-2005001 を提出いたしました。この諮問書は、日本語 JP ドメイン名における予約ドメイン名の今後の取り扱い方針に関する諮問事項に対して、答申をいただくことをお願いしております。

本資料は、諮問事項に関するご議論をいただく際の一助としていただくことを目的に、日本語 JP ドメイン名における予約ドメイン名の概要、今後の取り扱い方法として考えられる選択肢、登録を行うこととなった場合の予約解除・登録手順の選択肢について述べ、方針を検討するにあたっての論点を整理したものです。

委員各位におかれましては、これらの論点をご参考の上、ご議論をお願いいたします。また、本資料にてあげた以外にも検討が必要な点がございましたら、論点に加えていただければ幸いです。

予約ドメイン名設置の目的

JP ドメイン名の登録は、先願主義を採用しており、登録されていない JP ドメイン名は、最も早く新規登録手続を行った申請者が登録することができます。しかし、全く新たにドメイン名登録サービスを開始する場合などは、登録要求の集中や、サイバースクワッティング(他者の商標をドメイン名として登録するなどの悪意ある行為)の発生、公的名称や一般名称などの一個人・一組織での登録による混乱などが考えられ、これらの問題を抑える措置が必要です。

2001 年の汎用 JP ドメイン名の登録受付開始時には、このような混乱・紛争を抑えるため、後に世界的に「サンライズ・ピリオド(Sunrise Period)」と呼ばれることになるフェーズを、世界に先駆けて設けました。この中では、商標・商号などに基づいた優先登録制度や、登録申請の集中を回避するための同時申請制度(抽選により登録者を決定)などを実施しました。

予約ドメイン名はこれらの措置の一環として設定しています。特に日本語 JP ドメイン名は全く新たなドメイン名登録サービスとなることから、行政・司法・立法に関連する公的名称や、都道府県市町村などの地方公共団体名、小学校や中学校などの初等中等教育機関名、日本語の一般名詞など、多くの予約ドメイン名を設定しました。

現在、日本語 JP 予約ドメイン名には以下の 7 つのカテゴリがあります。

1. 都道府県名および政令指定都市名
2. 中核市かつ県庁所在地である都市名
3. 平仮名、片仮名、漢数字、記号等による 1 文字
4. 初等中等教育機関等の名称
5. 国際的な政府間機関(国連など)の名称
6. 行政・司法・立法に関連する名称
7. 日本語普通名詞

日本語 JP 予約ドメイン名の種類と概要

	カテゴリ	数	予約例	設定目的
1	都道府県名および政令指定都市名	108	青森、岩手、宮城、秋田、...、札幌、名古屋、北九州、...	地域型 JP ドメイン名に対応する日本語ドメイン名として
2	中核市かつ県庁所在地である都市名	8	宇都宮、金沢、高松、松山、...	同上
3	平仮名、片仮名、漢数字、記号等による1文字	190	あ、い、う、ア、イ、ウ、一、二、三、...	ひと揃いでの効果的な活用方法の検討のため
4	初等中等教育機関等の名称	28 (接尾文字列)	～幼稚園、～保育所、～保育園、～中学校、～高等学校、...	対象教育機関への公平な割り当て方法の検討のため
5	国際的な政府機関(国連など)の名称	86	国連、国際連合、世界銀行、ユニセフ、欧州特許庁、世界保健機構、国際労働機関、石油輸出国機構、...	公的名称を第三者が登録することによる混乱防止
6	行政・司法・立法に関連する名称	7170 (内 281 は接尾文字列)	人事院、警視庁、内閣府、衆議院、自衛隊、... 東京都、大阪府、愛知県、千代田区、八王子市、...	同上
7	日本語普通名詞	595	産業、通信、不動産、サービス、生命保険、自動車、弁護士、日本、社会、平和、人権、銀行、学校、ニュース、インターネット、...	一般的名称を特定の者が登録することによる混乱防止

予約ドメイン名を取り巻く状況

2001 年 2 月の汎用 JP ドメイン名登録受付開始から 4 年半が経過し、予約ドメイン名を取り巻く状況は変化してきています。

日本語 JP ドメイン名は、国際化ドメイン名(IDN)の一種です。2003 年 3 月に IDN の国際技術標準化がなされて以降、その利用環境が普及し、日本語 JP ドメイン名の活用が広がってきています。2005 年 8 月現在で、マイクロソフト社の Internet Explorer(IE)以外の主要な Web ブラウザは、既に日本語 JP ドメイン名が利用可能となっています。長らく対応が待ち望まれていた IE についても、次期バージョンにて日本語 JP ドメイン名に対応することが公表され、今後日本語 JP ドメイン名への要求はさらに高くなっていくものと考えられます。

2003 年 1 月には、予約ドメイン名の中で登録組織が明確であるものとして、中央官庁名の予約ドメイン名について、当該組織からの登録を受け付けることとしました。現在、「総務省.jp」が、登録・活用されています。この時の措置では、登録の申込がなかったものについては引き続き予約ドメイン名とすることとしました。

中央官庁以外の予約ドメイン名についても、たびたび登録に関する問い合わせが寄せられており、JPRS として予約ドメイン名を今後どのように取り扱っていくべきか、全体の方針を検討すべき時にさしかかっていると考えられます。

論 点

予約ドメイン名の取扱の選択肢案

1. 予約を解除せず、引き続き予約のままとする
ドメイン名として利用されることよりも、混乱・紛争を抑えることを重視。誰が登録者・利用者となっても混乱・紛争が想定されるような場合を想定。
2. 通常の登録は行わず、特定の用途に利用する
ドメイン名として自由な登録・活用を進めるのではなく、特にインターネット利用者の益に資する用途が検討できる場合を想定。
3. 予約を解除し、登録を受け付ける
自由な登録を含め、登録者を定める手段が検討可能であり、登録・活用が大きな混乱・紛争を発生させにくい場合を想定。

登録者の資格

1. 登録者の資格を限定する。
2. 登録者を限定しない。

予約の解除手順

1. 予約を一斉解除する。
2. 有資格者による優先登録期間は、登録により予約を解除する。その期間経過後、予約を一斉解除する。
3. 有資格者による登録によってのみ、予約を解除する。

登録の受付方法

1. 先願により登録を受け付ける。
2. 一定期間、登録を受け付け、競合のあるものは抽選を行う。
3. オークション

他国における予約ドメイン名の取り扱い事例

.au (オーストラリア) の事例

・ com.au および net.au における地名の登録開始

< 実施の経緯 >

地名に相当するドメイン名がオーストラリアのビジネスに役立ち活用されることが望ましいとして、com.au と net.au において地名を登録可能とした。

< 対象となるドメイン名 >

aarons-pass.com.au 、 aaronspass.com.au 、 abba-river.com.au 、 abbariver.com.au、 abbey.com.au など

< 登録申請方法 >

同時申請による抽選(申請期間：2005年6月1日～2005年7月31日)

・ com.au における予約ドメイン名のオークション

< 実施の経緯 >

com.au における商用での利用ができなかった 3,006 の予約ドメイン名について、オークションによる登録を行った。

< オークション実施の説明 >

.au ドメインは、すべてのオーストラリア人のために管理している公の資源である。市場に基づいた割当方法(オークション)は登録ラッシュを防ぐための良い方法であり、公平で公正な結果が保証できる。オーストラリアの企業(特に小企業)すべてに、予約ドメイン名の中で魅力的なドメインネームを登録できる等しい機会を与えることとした。

< 対象となるドメイン名 >

computers.com.au、 design.com.au、 computer.com.au、 software.com.au、 finance.com.au、 health.com.au、 web.com.au、 marketing.com.au、 internet.com.au、 security.com.au など

< 登録申請方法 >

オンラインオークション